

第4回寺本杯スポーツ少年団サッカー 交歓会 優勝 鏡野町スポーツ少年団

12月11日(日)第4回寺本杯スポーツ少年団サッカー交歓会がカンダグループサッカー・ラグビー場(津山市)で開催されました。

県北各地から12チームが出場し試合が行われ、決勝まで勝ち進んだ鏡野町スポーツ少年団は佐良山スポーツ少年団(津山市)と対戦し3-1で勝利し見事優勝に輝きました。



第14回山陽新聞社杯サッカー交歓大会 初優勝 鏡野町スポーツ少年団

12月24日(土)第14回山陽新聞社杯サッカー交歓大会がカンダグループサッカー・ラグビー場(津山市)で開催されました。

県内各地のスポーツ少年団12チームが出場するなかで勝ち進んだ鏡野町スポーツ少年団は、決勝トーナメントで吉井スポーツ少年団(赤磐市)に5-1で勝利し、続く一宮スポーツ少年団(津山市)との対戦も3-0で勝利し見事初優勝を飾りました。



鏡野町人権問題講演会

うすい まさと氏

「発達障がいの子とも共に
～自閉症のきみのこころをさがして～」

12月11日、鏡野町人権問題講演会を鏡野町中央公民館で開催し、町内外から約90人が受講され人権についての理解を深めました。



啓発活動をされているシンガーソングライターです。

うすいさんは、発達障がいのお子さんが、学校の宿題で音読ができなかった頃、復唱が得意なことに気づき、一緒に本を読み、復唱で宿題に取り組み、そればかりでなく読書に親しんだことなど、家族で共感することを第一に考え、そこから解決方法を探り、できることを増やしてこられたようです。

誰もが、学ぶことや色々な経験をする機会が平等にあり、家族の支えとその家族を取り巻く地域において温かく見守ることが、大きな支えになると感じられる講演でした。

アンケートにたくさんのご感想をいただきましたので、その一部を紹介します。

- ・自閉症のみならず、どの人に対しても相手を思いやる気持ちや理解が必要だと感じた。
- ・日頃の生活を積み重ね、経験を増やし、学びを得ることによって自信をつけていく過程がよくわかりました。関わることの大切さを強く感じました。
- ・トラブルを全て「良い機会」と捉えて対応されているところ、見習いたいです。
- ・学ぶ機会を持たせる事をあきらめない、親の努力はすばらしいと思います。
- ・否定をしないで共感をしていく大変勉強になりました。目標を持つ、障がいに対する理解が深まりました。
- ・無関心であるが故にその人を傷つけてしまったことは多々あると思います。障がいのある人のみならず、その人の立場にたって物事を考えて行きたいです。